



©環境省

(株)別処電線製造所

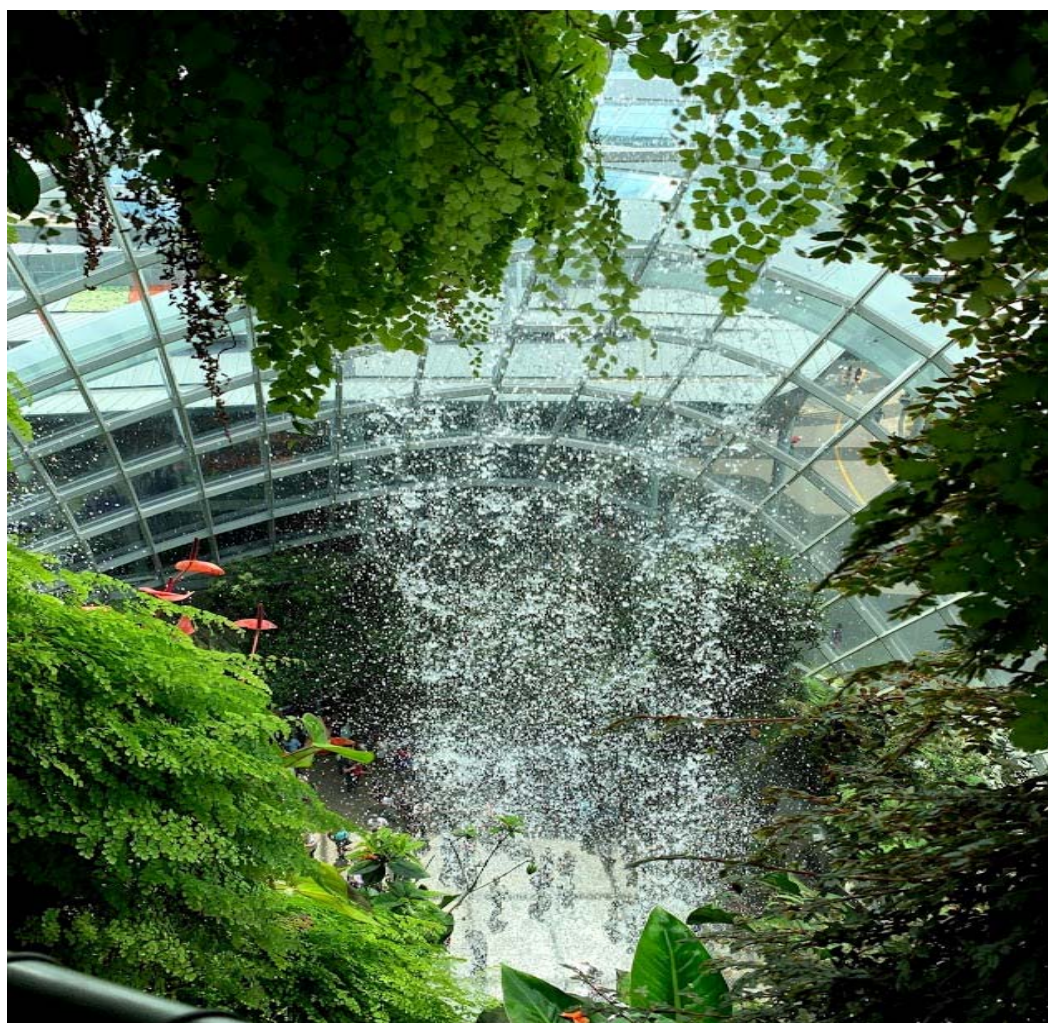


エコアクション21

認証番号0004504

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間：2024 年6月1日 ~ 2025 年5月31日)



地球を守り 未来を創る

発行日：2025年6月9日

環境経営方針

(株)別処電線製造所は、特殊銅撚線、丸編組線、平編組銅線の製造販売を通して、地球環境、地域社会との調和と共存を念頭に置き、弊社が行うすべての事業活動において、全社一丸となって継続的改善を行い、地球にやさしい会社創りを目指します

1. 次の事項について環境経営目標・経営計画を定め、継続的な改善に努めます

① 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・ 電力（工場、事務所）
- ・ 自動車燃料（営業車、トラック）

② 廃棄物排出量の削減

③ 水使用量（水資源の保全）

- ・ 一般水道水

④ 事務用品等のグリーン購入の推進

⑤ 製品不良の削減

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

4. 環境経営方針を全従業員に周知します。

※化学物質使用量の削減については、PRTR物質の使用が無い為設定しておりません。



制定日： 2008年11月1日

改定日： 2020年2月25日

代表取締役 別處 了太郎
取締役本部長 別處 達也

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

(株)別処電線製造所
代表取締役 別處 了太郎

(2) 所在地

本 社 大阪府茨木市蔵垣内1-2-10 ※
※2020年8月に集約移管

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

取締役本部長 別處 達也 TEL 072-624-6001

(4) 事業内容

特殊銅撚線、編組線の製造および販売
主要製品：無酸素軟銅撚線、無酸素軟銅丸編組線、スズメッキ軟銅撚線、平編組銅線

(5) 事業の規模

製品出荷額 15.5 億円
主要製品生産量 890 トン

	本社	合計
従業員(人)	25	25
延べ床面積(m ²)	2199	2199

(6) 事業年度 6月1日～5月31日

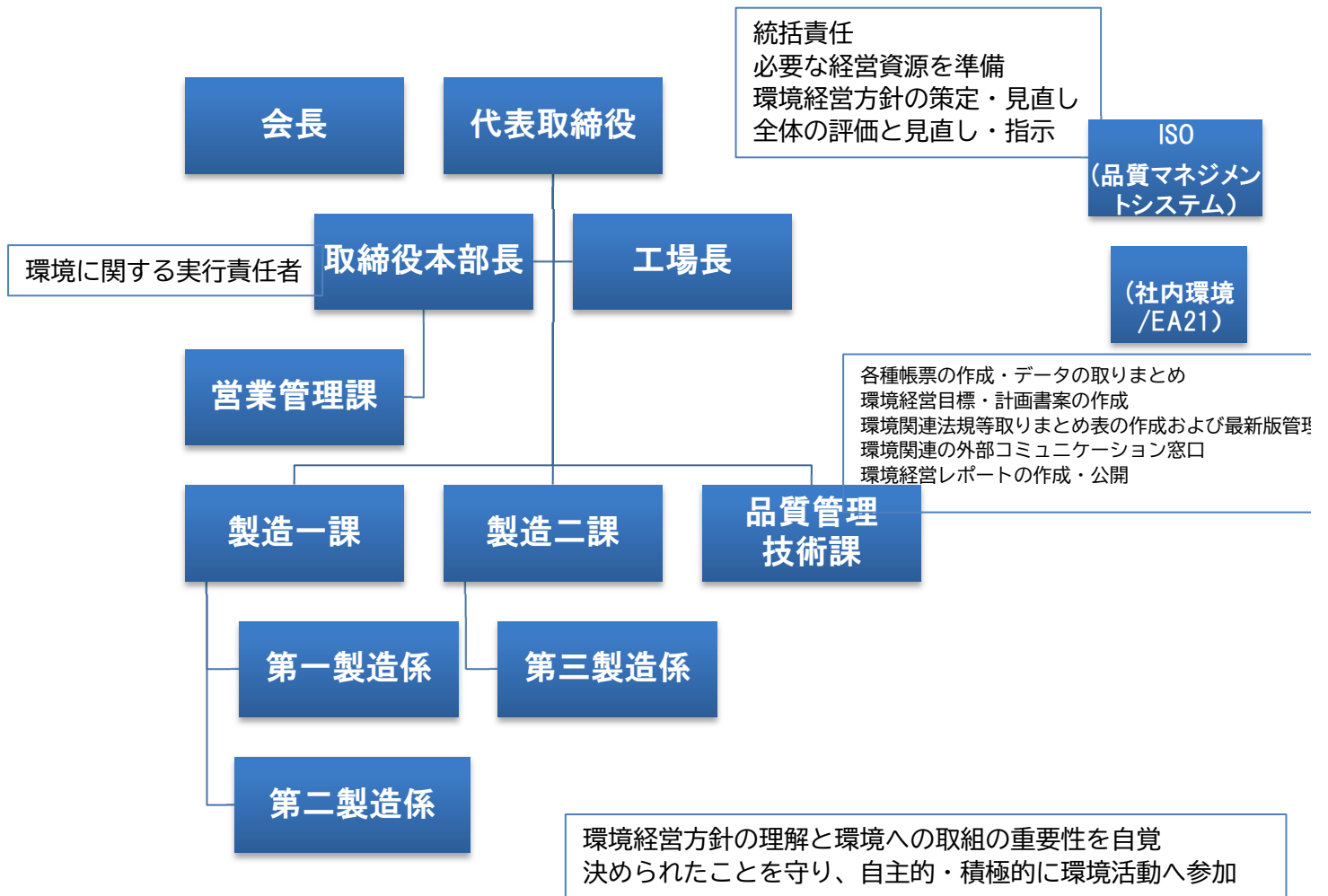
□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： (株)別処電線製造所

対象事業所： 本社

活動： 特殊銅撚線、編組線の製造および販売

環境経営組織および役割・責任・権限



□主な環境負荷の実績(2024年度)

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	141,896	131,585	93,384
廃棄物排出量	kg	2,139	3,897	1,946
一般廃棄物排出量	kg	671	681	666
産業廃棄物排出量	kg	1,468	3,216	1,280
水使用量	m ³	382	377	374

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.349 kg-CO₂/kWh

関西電力2020年度

(2024年12月24日より日本テクノCo2フリープランに変更)









□環境経営目標及びその実績（2024年度）




項目	年度	基準値 (基準年度)	2024年		評価	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減 (本社工場)	kg-CO2 基準年比	117,986 2023年	116,806 99%	80,078 68%	○	0
原単位の把握 (電気使用量÷粗利益)	千円/kWh 基準年比	0.76 2023年	0.72 95%	0.84 110%	×	0.83 109%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	13,599 2022年	13,055 96%	13,306 98%	×	12,783 94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	131,585	129,861	93,384	○	12,783
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	681 2023年	661 97%	666 98%	×	647 95%
廃プラの削減	kg 基準年比	3,216 2023年	3,120 97%	1,280 40%	○	3,055 95%
水道水の削減	m ³ 基準年比	377 2023年	366 97%	374 99%	×	358 95%
製品不良の削減	件 基準年度比	5 2023年	5 97%	5 100%	○	5 95%

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △まあまあできた ×できなかった

取り組み計画	SDGsとの 関連	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減			
数値目標		○	使用量は増えたが2024年12月にCO2フリープランに変更した為大幅な削減となった。次回以降は二酸化炭素排出は0となる予定
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）※工場内は冷房25℃暖房22℃	 	○	
・不要照明の消灯		○	
・ノー残業デーの実施		○	
・作業改善・業務改善の推進		△	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標		×	燃料消費は減少したが目標未達。次年度も再び削減に努めていきたい。
・アイドリングストップ	 	○	
・効率的なルートで配送		○	
・エリア別営業活動の見直し ・更新時に低燃費車を選択		○	
一般廃棄物の削減			
数値目標		×	目標未達だったが廃棄量は削減できている。次年度も削減に努めていきたい。
・分別の徹底	 	△	
・紙コップ使用の削減		○	
・副資材の管理による無駄買いの防止		○	
・5S活動の推進（部門別活動計画書で運用）		○	
・環境配慮したコピー用紙の購入		△	
廃プラの削減			
数値目標		○	ワンウェイで廃棄していたボビンを返却する事で大幅な削減となった。次年度以降はこちらの数量を基に削減に努めていきたい。
・作業ミスによる廃棄量の削減	 	○	
・安全で丁寧な作業の励行		○	

水道水の削減			
数値目標		×	目標未達。水使用量に関しては自動散水によるものが多く、削減が難しいが、こまめに節水して取り組んでいき
・自動散水装置の取り付け		○	
・自動水栓取り付け		○	
事務用品のグリーン購入			
・環境マークの付いた物品を積極的に購入		○	コピー用紙についてはFSCマーク製品を採用している。引き続き採用を検討していきたい。
・詰め替え商品を採用する		○	
製品不良の削減			
①作業前の点検、確認の徹底		○	前年同様の件数だったが、年間を通じての件数では少ないので良い内容だと思う。次年度も引き続き削減に努
②定期的にスキルチェックを行う		○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	主な規制事項 (具体的な内容・項目・要求事項)	遵守状況
廃棄物処理法	保管基準および委託基準の遵守 マニフェスト交付状況の定期報告	○
NOx・PM法	適合車の使用	○
フロン排出抑制法	廃棄時の適正処理、冷媒漏洩点検	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等はこれまでありませんでした。(関係当局よりの違反等に指摘はありませんでした)

□代表者による全体の評価と見直し・指示

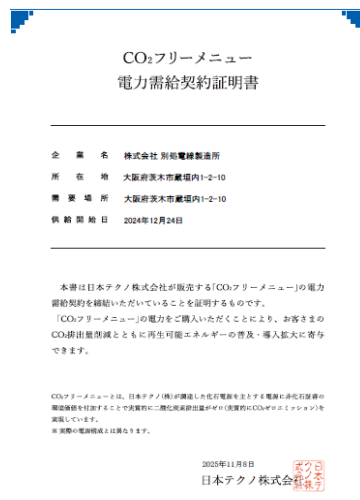
2025年1月より使用電力をCo2フリープランに切替えたので、

今後は二酸化炭素排出量（電力由来）：0kg-CO₂を維持と電力使用量の削減を目標とする

環境経営方針	変更なし
環境経営目標・計画	変更なし
実施体制他	変更なし

代表取締役 別處了太郎

□環境活動の紹介



電力をCo2フリープランへの変更

[CO2フリーメニュー電力需給契約証明書](#)

・今期の改善テーマ～仕損の低減
スペースの最適化による事故・ミスの低減